

# An die Freude



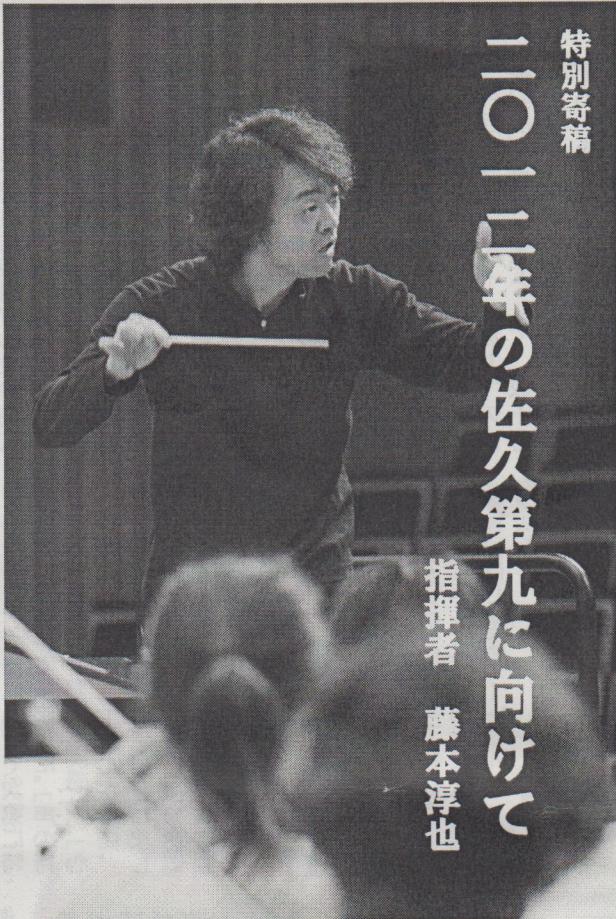
「第九」のまち佐久

佐久第九演奏会ニュース No27 2012「第九」スタート号 H24.8.24

特別寄稿

## 二〇一二年の佐久第九に向けて

指揮者 藤本淳也



先日、佐久の皆さんには第一回目の発音練習のためお目にかかることが出来まして大変嬉しく思っております。その際、長年第九を歌われている方や初めて参加される方も含めて、その生き生きとしたお姿から、今年の第九公演がますます楽しみになつてゐます。一つの作品を皆さんで何度も演奏し熟成させるのは、ただ一回だけのコンサートも記念にはなりますが、これとはまた違った魅力があると特に第九を通して感じています。そして毎年素晴らしい演奏をして下さる皆さんとまたご一緒できて本当に幸せです。

さて、昨年の演奏は今でも隅々まで映像と共に蘇つてまいります。第三楽章で目頭を押さえながら聴いていた合唱団員の方、オーケストラのみの演奏部分を食い入るようになっていました。そこで毎年素晴らしいと対話されているようにお見受け出来る方まで、私は指揮をしながら舞台上の皆さん

を眺めておりました。そして合唱部分では昨年の課題であつたピアノ部分の表現がよく仕上がっていいたと思います。演奏中、決して舞い上がる事なく冷静に、心身をコントロールされながら歌われているのがよく伝わりましたし、お客様もきっと楽しめたのではないかと思います。ベートーベンが最後に用いた樂器が人間の声で、しかも合唱のユニゾンで最後の交響曲を締めくくつたことを思うと、今改めてこの作品に占める合唱の役割が重いのを再認識致しております。

そこで、今年また皆さんと共に演じるにあたり新たなチャレンジを考えております。それは最後のプレスストラ部分での力強い表現です。確かに、合唱の歌う部分はオーケストラに比べて少ないとはいえるが、あらゆる表現を経て最終部のプレスストラに到達した際、これは当然かもしれません。肉体的にかなり大変なものがあると思います。いく

ら練習で仕上がつていても言葉が滑つたりテンポに追いついていかないところが多少あります。しかしもれません。勿論、全体の勢いである程度までは問題なく演奏出来ますが、今年は速いテンポの中により明瞭に発音し力強く歌うことを皆さんと共に作り上げていけたらと考えています。ところで、年配の方ですとアップテンポでのドイツ語が大変だと初めから思われる方がいらっしゃるかもしれません。しかしながら、合唱にはみんなでやると自分もそれにつられて出来ていく魔法を秘めていますので、あきらめずにつやレジされてみたり、パートリーダー内田先生はじめトレーナー、パートリーダーの皆さんにはご苦労をおかけ致しますが、先生方独自の指導法と個性で団員の皆さんを楽しませて頂ければ幸いです。よろしくお願いします。

<プロフィール> 秋田県出身。幼少よりヴァイオリンを北島智仁氏に、ピアノを竹村和子女史に師事。

東京藝術大学指揮科卒業。安宅賞受賞。同大学院修士課程修了。これまで指揮を佐藤功太郎氏、F.トラヴィス氏、坂本和彦氏に師事。また、オペラ制作の現場では星出豊氏はじめ、故若杉弘氏からの薫陶を受ける。

1995年5月チェコで行われた「プラハの春」国際指揮者コンクールのセミファイナリスト。

2001年9月から1年間、ロータリー財団奨学生としてベルリンに留学。ベルリン芸術大学 Peter Winkler 氏のオペラ実習クラスでイタリアオペラを学ぶ。またベルリン国立歌劇場にてダニエル・バレンボイム氏のもと、モーツアルトのオペラを学ぶ。これまで、群馬交響楽団、大阪センチュリー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団をそれぞれ指揮。特に東フィルでは、オペラコンセルタンテシリーズにて大野和士氏のアシスタントを務める。2000年8月には国際交流基金派遣員としてフィリピン・セブ島にてセブユースシンフォニーオーケストラ(CYSO)を指揮。また、韓国で行われた The 6th Arts Festival Dimension 2008 にて Ensemble Interactive TOKIO を指揮。日韓両国の現代室内楽作品を演奏。

近年では、都内オペラ団体の公演に音楽スタッフとして参加すると共に、各地のオペラ団体、オーケストラや合唱団の指導、演奏も行っている。とりわけ、長野県内ではこれまで信州大学交響楽団、長野フィル、長野市交響楽団、長野楽友協会、カノラータ・オーケストラ、佐久室内オーケストラ、志音会オーケストラ、アンサンブル NOVA と共に演じます。また、2009年には東京室内歌劇場ハンガリー、ブルガリア公演に参加。2010年10月には、Ensemble Interactive TOKIO のヨーロッパ公演に同行し、スロヴェニア、クロアチアでの4公演を指揮。武満徹「カトレーンII」をはじめとする室内楽作品を演奏。この秋には新潟でビゼー作曲オペラ「カルメン」(音楽鑑賞教室)抜粋を指揮。

趣味は登山。東洋大学白山グリークラブ常任指揮者 東京室内歌劇場指揮会員 (社)日本演奏連盟会員 昭和音楽大学講師

公式ホームページ <http://www.j-fujimoto.com/>

さあ 一緒に!